

培養目的菌一覧

分類	検査コード	検査項目	検査材料	保存条件	容器	所要日数	備	考		
	統一コード									
培 養 目 的 菌	3466	β溶血レンサ球菌	各種材料	冷蔵	T1 T6 など	3~5	T1容器は非推奨			
	3454	ジフテリア菌								
	3455	百日咳菌				鼻腔洗浄液 鼻腔吸引液		T6 U2 など	5~7	
	3456	レジオネラ菌				喀痰 / 穿刺液 気管支洗浄液			7~10	
	4446	髄膜炎菌	各種材料	常温	T1,U2 など	3~5				
	3459	黄色ブドウ球菌	各種材料	冷蔵	T1 U2 など					
	4846	緑膿菌								
	3457	エロモナス	消化器系材料	常温	T1 K など					
	3458	プレジオモナス								
	3460	エルシニア								
	3462	ビブリオ						コレラ菌を含む		
	3467	赤痢菌								
	3468	サルモネラ						チフス菌・パラチフスA菌を含む		
	3463	セレウス菌								
	3490	ボツリヌス菌								
	3491	ウェルシュ菌								
	3494	カンピロバクター								
	4298	大腸菌O157								
	3492	病原大腸菌血清型						T1 K など	3~5	腸管出血性大腸菌用の選択培地に大腸菌が確認されれば大腸菌血清型別を実施 下痢原性大腸菌を対象とした血清型のスクリーニング検査であり、病原因子を特定するものではない 大腸菌ベロトキシン (2815) の同時依頼を推奨
	4469	腸管出血性大腸菌							3~7	腸管出血性大腸菌用の選択培地に大腸菌が確認されれば大腸菌血清型別を実施 大腸菌ベロトキシン (2815) の同時依頼を推奨。 依頼がない場合は、既知血清型大腸菌検出時に実施
3707	ヘリコバクター	胃粘膜組織 十二指腸組織				冷蔵	T7	7~11	薬剤感受性検査の追加不可 培養依頼時に薬剤感受性検査がある場合はさらに7日必要	
3489	クロストリディオイデス ディフィシル	消化器系材料				常温	T3	3~7		
3469	淋菌	各種材料				冷蔵	T1 U2 など	3~5	妊娠35-37週のGBSスクリーニング検査	
4465	B群β溶血レンサ球菌									
3493	ガードネレラ									
3470	放線菌 (ノカルジア、アクチノミセス)			T1 T3	9~12			培養依頼時に嫌気性培養の依頼が必要		
培 養 目 的 菌	耐 性 菌	3452	MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)	各種材料	冷蔵	T1 T6 U2 など	3~5			
		4521	VRE (バンコマイシン耐性腸球菌)				4~6	VCMのMICを測定 (MIC≥16)		
		3820	MDRP(多剤耐性緑膿菌)				4~7	IPM、MEPMの何れかが≥16μg/mLかつAMK≥32μg/mL かつNFLX≥16μg/mLまたはOFLX、LVFX、LFLXの何れかが≥8μg/mLまたはCPFX≥4μg/mL		
		6355	PRSP (ペニシリン耐性肺炎球菌)				4~6	PISP、PRSPを含む PCGのMICを測定 ・髄膜炎以外 (PSSP : MIC≤2, PISP : MIC4, PRSP : MIC≥8) ・髄膜炎 (PSSP : MIC≤0.06, PISP : -, PRSP : MIC≥0.12)		
		6356	BLNAR (βラクタマーゼ陰性アンピシリン耐性インフルエンザ菌)					ABPCのMICを測定 (MIC≥4)		
	真 菌	3496	アスペルギルス	各種材料	冷蔵	T1 U2 など	3~7			
		3461	カンジダ							
		3825	クリプトコッカス							
		3465	白癬菌				14~21			
		6770	糸状菌				3~22			
3495	デンプウ菌			5~9	オリーブ油重層法による検査					

(検査方法：質量分析および Clinical Microbiology Procedures Handbook に基づく方法に準拠)